

Kofu
Josai

山梨県初の総合学科高校、夢をかなえる8系列
好奇心旺盛な君、可能性をひろげたい君
あなたらしい花を、咲かせてみませんか？

私たちのこと、知ってほしくて作りました。

甲府城西高校の広報誌「KJ」です。

第2号

甲府城西高校通信

お元気ですか？ 甲府城西高校KJ通信です。

特集 授業紹介

□ 特集 授業紹介

今回8系列の中から、「ビジネス会計」「メカトロニクス」「エレクトロニクス」
「福祉・生活科学」の4系列をクローズアップ

□ 竹のように！ 校長 大沢 正

□ 選択科目の幅の広さで能力発揮！才能溢れる城西生を紹介します。



竹のように！ 校長 大沢 正

私の家の周りにはいくつもの竹藪がありますが、子どもの頃から親しんできたその風景とともに、竹そのものが私は大好きです。竹のすうすうとまっすぐに突っ立っている形が好きです。途中で曲がりくねったりしないで、いちずに天を目指している姿には、ただ一つのものだけを信じて生きていこうとしている強い心と何か似かよふものがあるような気がしてなりません。

また、竹はどんなときでも一本立ちでいることがありません。自分ひとりだけ太ろうとか、高く伸びようとかと言う気持ちもありません。竹は、いつも一家一団と言いますが、仲間といっしょになって共同の生活をしています。そして土の下でしっかりと手を握り、互いに支え合い助け合っているのです。

それから、四季を通じて変わることがない、あのつやつやとした美しい緑の色が好きです。春の末から夏になると、若竹がすくすくと、目を見張るスピードで伸びていきますが、決まって親竹よりも太く、そして、背も高くなります。さらに、厳しい冬の大雪にも耐えて頭を垂れます。それでも、またどんどん雪が積もってくると腰まで曲げながらじっと忍んでおり、滅多なことでは折れるようなことはありません。そして、雪が小降りになると、自分の力で積もっているものをはらい落として、ぴんと元の姿にかえり何もなくたように生き生きと立っています。

また、地下に根のはっている竹は、踏みしめられれば踏みしめられるほど強く丈夫になって仲間を増やしていきます。地震にあっても、そこだけは地割れなどしないで人々を助けてくれると言われます。家の周りの竹を見るたびに、甲府城西高校の生徒一人一人が誇りと他の生徒を思いやる心を持って、この竹のように逞しく成長してほしいと願っています。

**フードデザイン・児童文化
リビングデザイン**

家庭科の科目は、どれも実習を大切にします。知識を学ぶだけでなく、確かな「技術」を身につけることは、豊かに生きていくために、必要不可欠です。

確実に「技術」を身につけ、自分のレベルを確認するために、本校では「フードデザイン」「栄養」「児童文化」「被服製作」の授業で、全国高等学校家庭科技術検定に取り組んでいます。

また、「リビングデザイン」では、モデルハウスの見学や住宅模型作りの自習も行っています。



依田 茜 (玉幡中出身)

食物調理検定2級の課題は、家族の夕食献立の作成と、調理でした。

決められた条件の中で、献立を考えるのは大変でしたが、何回も練習し、細かいことまで勉強でき、将来役に立てばいいなと思います。

保育検定4級では、折り紙・歌・絵本の読み聞かせ、子どもの世話が課題でした。普段の生活では、やらないことなので難しく感じましたが、恥ずかしいという思いを捨てて取り組み、なんとか合格することができ、うれしかったです。

住宅模型作りは、とても楽しく、毎回授業の時間が待ち遠しいです。

社会福祉援助技術

高齢者や障害者など生活上の支援や介助を必要とする人に、どのように援助するかを学習します。具体的には、点字や手話などのコミュニケーションの方法やリハビリとしてのレクリエーションの方法などです。体験実習を通して福祉を考え学ぶ授業です。



山下 由華 (櫛形中出身)

みなさんは、「福祉」と聞くとどんなことを思い浮かべますか？多くの人が介護やレクリエーションをしている様子を思い浮かべるとと思います。

今、私が学んでいる社会福祉援助技術は、座学はもちろん、老人ホームや支援学校の方々へ喜んでもらえるような小物作りをするなど、実践的に学ぶことができます。

将来、福祉関係の職業に就きたいと考えているなど、福祉の分野に興味がある人には、おすすめです。

**選択科目の豊富さで授業を
通してたくさんの経験を積める！**



授業紹介



簿記β I・II

商業高校では全員が同じ単位、同じ授業進度で簿記の授業を行っています。本校では各自の目標により3種類の異なる単位、異なる進度の簿記を選択することができます。

特に簿記β I・IIは商業高校の2年分の内容を1年間で学習します。このような取り組みは本校ならではのものと言えます。さらに簿記だけではなく、情報処理・ワープロ・電卓・秘書などの資格もやる気次第で取得が可能です。

両宮 美香沙 (竜王中出身)

簿記βは、I・II合わせて、8単位もあり、受講当初は多いと感じていました。しかし、最短で資格を取ることができたので、この授業時間は大切だと思いません。

授業は、先生の説明がとてもわかりやすく、難しいところやできないところを、丁寧に教えてくれます。

私は簿記の授業を始めて、たった3ヶ月で3級の資格を取得することができました。

今は、2級と1級の資格を取るために頑張っています。



電気実習 II

本校の授業において取り組んでいるのは、第二種電気工事士国家資格取得です。この資格は低圧一般用電気工作物の工事を目的とします。

また、今年度は上位資格として、第一種電気工事士国家資格取得も目指しています。

これは、高圧自家用電気工作物の工事および維持管理を目的とします。



飯島 一裕 (甲府東中出身)

「電気実習II」という科目は、第二種電気工事士の資格取得に必要な実技の勉強です。授業担当の先生から詳しく説明を受けて以来工事士の資格を取得して、将来この資格が活かせるところへ就職したいと考えているようになりました。

2年の時学んだ電気基礎の内容を思い出しながら、放課後や休みの日に課外を受けることで、第二種電気工事士の資格を取得することができました。そして今は、その上の第一種電気工事士の資格取得をめざして頑張っています。

長田 裕子 (須玉中出身)

技能検定とは労働者の有する技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度です。

私が受験した職種と等級は、機械加工マシニングセンター作業3級です。

自分が満足するようなことが出来なかつたので、合否の結果は聞きたくありませんでしたが、渡されたのは合格通知でした。うれしかったです。

山梨県では高校生初、女子初の合格者だそうです。

来年は、もうひとつ上の級に挑戦してみたいと思います。



メカ実習

「メカ実習」は「工業技術基礎」の発展学習科目として3年次に週4時間行います。目的は、「社会の即戦力となる技術の習得」です。前期には1つの項目を集学習します。

一例として、本年度5名の技能士を輩出しました。溶接技能講習修了者も多数います。

選択科目の幅の広さで能力発揮!

才能溢れる城西生



創る喜び

桑原 知絵(甲府東中学出身)

(第二十八回山梨県高等学校芸術文化祭書道部門 芸術文化祭賞受賞)

「瓦を焼く」と言うことでしたので、工芸の先生にも協力していただきました。作業は十二枚の石膏を作り、それに字を掘って粘土を押しつけることで型どりをします。焼いた後、泥や砂をつけ、より本物に近づけました。釜のある学校は山梨には二校しかなく、甲府城西高校だからこそできた作品だと思います。来年の全国大会でも、他の作品から多くのことを学び、今後の制作活動に生かしたいと思います。

今回、瓦を焼いて出品しました。初めての取り組みでしたので、苦労も多かったです。



感謝

鈴木恵里子(山梨大学附属中出身) 勝村比呂美(甲府南中出身)



(読売新聞社主催 第五十一回日本学生科学賞 県知事賞受賞)

研究内容は竹のひび割れ方と、どうしたら割れないかを検証するものでした。そのため、休日を使って一日中実験をすることもありました。この頃、私は丁度就職活動と時期が重なり、かなり厳しい計画で行いました。研究にあたり、先生方には熱心なご指導をいただきました。休日の時には昼食を用意していただくなど、多面に渡り支えていただきました。とても感謝しています。今、研究を通してたくさんの方に感謝しています。また、探究心をさらにつけることが出来ました。これからこの気持ちを大切にしていきたいと思っています。

作品を魅せる

三村知美(石和中出身)



(第二十四回全商英語スピーチコンテスト山梨県予選レシテーション部門優勝)

レシテーションとは言ってもただ覚えて、発音よく話せばよいわけではありません。その物語を聴衆に「伝える」ための感情がこもっていないければ意味がないのです。普段の生活でも同じですが、自分が思っているほど他人には伝わっていないことであるのだなあと、強く感じました。私は結果にはこだわらず、作品を「魅せる」ことに魅力を感じていました。しかし、優秀に選ばれた時は、喜びと驚きで体が固まってしまうくらいでした。努力が認められた気がしてとてもうれしかったです。そして、なによりも賞を取ったことで、これまで私のために時間を割いて指導をしてくださった先生方に、恩返しが出来たかもしれないと思いました。本当に感謝しています。

編集後記

- 早いもので、今年も終わろうとしています。みなさんにとってどんな一年でしたでしょうか?
- KJ通信第2号を発行いたしました。今回は、特集として、甲府城西高校ならではの、特色ある授業をクローズアップしてみました。また、3人の才能溢れる城西生にも登場してもらいました。
- 是非感想をお聞かせください。これからもよろしくおつきあいをお願いします。(M.N.)

KJ通信

発行 山梨県立甲府城西高等学校
山梨県甲府市下飯田一丁目9-1 〒400-0064
TEL 055-223-3101 FAX 055-223-3103
URL <http://www.kai.ed.jp/jyosaih/>
Mail. root@jyosaih.kai.ed.jp

発行日 平成19年12月10日
編集 甲府城西高等学校広報委員会



We love Josai.